

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月	直近の更新年月日
名護市	久志地区(安部、嘉陽)	令和4年3月	令和4年3月28日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	51.7ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	44.2ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	13.2ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	3.8ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・当該地域では、共通の課題として遊休地が多いことが挙げられている。また、高齢化も進んでいる。 ・座談会にて安部地区では農家に対して農業を安定的に経営できる研修や仕組みづくりを行う検討が必要と意見が出た。 ・嘉陽地区では水路の氾濫改善や所有者の明確化、意思確認を行いながら農業者同士のコミュニケーションや農業者以外へ向けた農業イベント等を行いたいという意見が出た。 ・中心となる中心経営体がない。 ・アンケート結果より相続未登記等の土地が多数あり、土地の権利者が複雑化していることもある為、権利設定が行えない、耕作に踏み切れないようなケースが見受けられる。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none"> ・安部地区では農業を安定的に経営できる研修や仕組みづくりを検討して農業が分からない初心者も広く取り入れ技術を引き継ぎながら中心経営体として設定し集約化していく。 ・嘉陽地区では新規就農者の中で地域行事に参加できたり、長期的な視点で考えられ、環境保全に取り組める人材を中心経営体に設定して集約化を行っていく。 ・離農が想定される農業者の農地や、耕作放棄地を解消した再生農地等を、新規就農や設定された中心経営体へ斡旋し、担い手への農地集積を図り、農地の有効活用を促進する。 ・地区内でどのように農地を守っていくか等について、今後継続的な話し合いの場を設け、地区内で中心となる経営体を育てる雰囲気づくりを図っていく。
--

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

<ul style="list-style-type: none"> ・農業後継者及び新規就農者の確保、育成に努め、耕作放棄地や離農が想定される農業者の農地状況を把握し、当地区の中心経営体への集積並びに新規就農者への斡旋等を行う。
--